

JICA北海道国際センター(札幌)

JICA-HICS

札幌市白石区本通16丁目南4番25号

日本の冬を楽しむ HICS2題

研修員に日本のお正月の慣習や伝統的な遊びに親しんでもらう「新春祭」を平成15年1月19日(日)に開催した。会場では獅子舞が披露され、研修員はけん玉やお手玉などの昔遊びや書初めなどを体験し、日本のお正月気分を味わっていた。

2月2日(日)には、研修員に北海道の冬を満喫する機会を提供しようと、HICSの中庭で雪に親しむプログラムを実施した。全員でかまくらを作った後、グループに別れて「第2回さっぽろスノーメモリアルチャレンジ・ザ・ギネス雪だるまづくり2003」に登録する雪だるまを作成し、みな童心にかえり冬の日を楽しんでいた。



チャレンジ・ザ・ギネス雪だるまづくり2003



HICS新春祭

JICA 北海道国際 センター

北方圏センターは平成8年から、国際協力事業団(JICA)北海道国際センター(札幌・帯広)の管理運営を行っています。

両国際センターは、日本の技術や経験を習得してもらうためにJICAが受け入れをし、各種の研修コースに参加する開発途上国からの研修員が研修期間中滞するほか、地域市民との交流の場としても活用されています。

JICA北海道国際センター(帯広)

JICA-HICO

帯広市西20条南6丁目1番地2

小学生、中学生を対象に 国際理解促進事業を実施

帯広センターでは開設以来、次代を担う少年少女の国際理解を促進するため、地域の小中学生を対象に国際センターに滞在する研修員との交流会を実施している。

ゲームや歌、研修員の出身国の文化紹介等の交流は子どもたちにとっては広い世界に触れるという良い機会であり、研修員にとっては日本の文化や子どもたち、ひいては日本の社会を知る機会になっている。

2月8日(土)、十勝管内の中学生16名が帯広国際センターに集合、グループに分かれて研修員から各国の生活、文化などの話を聞いたり、「森の交流館・十勝」での昼食会のあとは、一緒にミニバレーを楽しみ交流を深めた。



イグルーの中で



エルサルバドルってどんな国?

この日参加したチリ、フィリピン、タンザニア、ウガンダなどからのJICAの研修員8名はそれぞれ自国の文化の紹介につとめた。また、通訳補助として帯広柏葉高校国際交流同好会の生徒8名も加わってにぎやかな交流の日を過ごした。

3月8日(土)、9日(日)にはまだ冬景色の然別湖畔(鹿追町)で、十勝管内の小中学生35名が交流に参加した。雪や氷で作られたイグルーの中で氷彫刻を楽しんだほか、帯広国際センターに1泊して研修員たちと2日間行動を共にした。

研修員は22名が参加したが、フィジー、ベトナム、エルサルバドル、ケニアなど雪や氷とは無縁な国の出身者が多く、初めての雪遊びを体験し楽しんでいた。

LIBRARY INFORMATION

国際協力事業団 北海道国際センター(札幌) 図書資料室

〒003-0026
札幌市白石区本通16丁目南4番25号
(地下鉄東西線・南郷18丁目駅下車、徒歩約10分)
TEL.011-866-8306 FAX.011-866-8302
E-mail:jicahisa@jica.go.jp
OPEN:月~金 9:30~19:00
土 10:00~16:00
CLOSE:日曜・祝日、年末年始など

どなたでも
自由に
閲覧できます

原則として貸出し
していません。

国際協力事業団(JICA)北海道国際センター(札幌)は、北海道における国際協力に関するさまざまな情報の提供を目的に、図書資料室を設置しています。

子供向けの資料もたくさん取り揃えておりますので、世界の国々について調べてみませんか?

皆様の来館をお待ちしております。

